

第30回子ども・子育て会議次第

令和5年8月22日（火）

午後1時30分～午後3時

多可町役場3階 特別会議室

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3.

1) 「家庭教育支援冊子」について・・・資料1

2) 「(仮称) 多可町子ども条例（素案）」について・・・資料2

4. その他

1) 次回の会議開催予定 第31回子ども・子育て会議

日 時 令和6年1月15日（月）午後1時30分～午後3時

場 所 多可町役場3階 特別会議室

内 容 （仮称）多可町子ども条例（素案）について

5. 閉 会

就学前

基本的な生活習慣を身につけ、やる気を育める

就学前は
こんな時期です

「育ち」の特徴

- 少しずつ身の周りのことが自分で出来るようになってきます。
- 良いこと、悪いことなどを自分で考えて行動する力も育ってきます。
- 何をしている時でもその中におもしろさを見つけられる時期です。子どもの興味関心を広げるために、それぞれの子どもに合わせて様々な体験をさせることが大切です。

● 家族と一緒に出かけましょう

自然の中では草花や生き物に触れたり、季節の移り変わりなどを肌で感じたりすることができます。

日頃見慣れた町の風景であってもゆっくりと歩き、時には足を止めて「自然の不思議さ」「生命の大切さ」などについて、家族で話をしてみましょう。

● 集団で思い切り遊ばせましょう

同年齢や異年齢の集団で遊ぶことは、人と人との関わりなど社会のルールを学び、思いやりの心や規範意識のめばえを養います。また、今後の自分を支える自信となる「自尊感情」のめばえにもつながります。時には大人も一緒に楽しんで遊び子ども同士が遊ぶ橋渡しを行いましょう。

● 生活の中で繰り返し身につけさせましょう

小さな失敗や、物事を最後までやり遂げるのに多少の時間がかかっても、自分の身の周りのことは自分でさせるようにしましょう。また家の中で毎日できるお手伝い（例えば食事の準備や片付けなど）を一緒にしましょう。

● みんなで楽しく食事をとりましょう

マナーを守りみんなで楽しく食事ができるよう、望ましい食習慣づくりを心がけましょう。そのためにも、家族で食卓を囲み、家族団らんの大切さを見直しましょう。また、好き嫌いは調理を工夫するなど長い目で見ることも大切です。

● 絵本の読み聞かせをしましょう

自然に本に親しんでいく環境をつくるために、子どもが手に取りやすいところに絵本を置いておいたり、子どもをひざの上になっこしてふれあいながら絵本を読んだりして、豊かなイメージや言葉を与える絵本を家族一緒に楽しみましょう。

就学に向けて

- 登下校の道のりを一緒に歩いて危険箇所を把握しましょう。
- 落ち着いて授業に取り組めるように、話を聞けるようにしましょう。
- 着替えや排泄、身の周りの整理等、できるだけ自分でできるよう練習しておきましょう。
- 自分の名前が分かると持ち物の管理がしやすくなります。
- 学用品や持ち物を一緒に確認し、家の中ではどこに片付けるのか決めておきましょう。

ワンポイント
アドバイス

就学前

家庭生活・教育
こんな内容・方法で

健康

- 基本的な生活習慣を身につけ、生活リズムを整えましょう。（早寝早起き朝ごはん・規則正しい睡眠など）遊びを通して、走る、跳ぶ、投げるなどという基本的な動きを学び、運動の仕方を身につける大切な時期です。外で思いっきり遊んで筋力やバランス感覚を養い、健康な体をつくりましょう。

人間関係

- 「人生に必要な知恵はすべて幼稚園（保育園）の砂場で学んだ」と言われるほど、遊びから学ぶことはたくさんあります。
- 子どもの思いや考えを尊重しながらも、わがままはとおらないこと、時には我慢することが必要であること、また約束やルールを守ることなどについて教えましょう。
- 子どもの言葉に耳を傾けたり、目を見合わせたり、感情を分かちあったり、褒めたり、認めたり、励ましたり…愛情いっぱい育てていく子どもは、やがて、これから出会う人々を優しさで包み込むことでしょう。



環境

- 草花や風、水、氷、牛乳パックやアイスのカップなど、子どもの好奇心を引き出す素材は数え切れないほどあります。身近にあるものをつかい工夫しながら遊ぶ楽しさを感じさせましょう。
- 「なぜ」「どうなっているの」「やってみたい」という気持ちを大切にすると共に、大人と一緒に考え、遊び、見守ることが子どもの好奇心を育てます。
- 「お皿は何枚いる？」「どのコップが一番たくさん入る？」「四角い積み木から片付けよう」「長い針が3になったらね」と、様々な場面で数量や図形等に興味や関心を持たせましょう。
- もの（おやつや玩具等）も大人の声（指示や命令、評価や教訓、禁止や制止等）も与えすぎは逆効果です。

言葉

- 子どもの気持ちや思いなどを大人が代弁することで、子どもの言葉の表現が豊かになります。
- 身の回りのひらがなに興味を持ったり、しりとり遊びや歌などで言葉や文字にふれたりしてみましょう。

表現

- 美しいものや優れたもの（四季の移り変わり、絵、絵本、音楽など）などにふれる機会をつくり、豊かな感性を育てましょう。
- 歌やダンス、絵画、製作、ごっこ遊びなどをとおして表現する楽しさを味わわせ、創造性や表現力を豊かにしましょう。
- テレビやゲームばかりにのめり込むと、屋内に閉じこもる、人間関係をつくる力が育たないなど、子どもの健全な心の成長に影を落としかねません。ルールをつくり、それを守る習慣を付けさせましょう。

おはしのもちかた

おはしをただしくもちましょう

